

第 63 回
関西社会学会大会
プログラム

第 1 日 2012 年 5 月 26 日 (土)

第 2 日 2012 年 5 月 27 日 (日)

開催校
皇學館大学

第1日 5月26日(土)

◆理事会 11:30~12:30 (9号館5階951)

◆受付開始 13:30 (6号館2階)

◆研究報告I 14:00~16:30

[第1室] 理論・学説I (7号館4階741) 司会: 田邊 浩(金沢大学)

1. アドルノにおける<自然>と客体の優位 岩熊典乃 大阪市立大学
——ハーバーマスによるアドルノの自然論解釈をめぐって——
2. ルーマン権力論のどこが新しいのか 井口 暁 京都大学
——権力理論の視点から——
3. 現代社会学における社会構成主義の諸理論 梅村麦生 神戸大学
——バーガー・ルックマン、ギデンズ、ルーマンを比較して——
4. 行為か、コミュニケーションか、および/あるいはメディアか 高橋顕也 京都大学
——社会システム理論における基本単位をめぐる議論について——

[第2室] 家族・人口 (7号館4階742) 司会: 木脇奈智子(藤女子大学)

1. 日本と台湾における出生動向の比較 平井太規 神戸大学
——追加出生に対する家族形態の影響力——
2. ひょうご復興コレクティブハウジングと生活援助員による<支援>の限界 稲見直子 大阪大学
3. 東アジアにおける親子間援助行動の国際比較 柴田 悠 同志社大学
——EASS-2006のデータを用いた記述的分析——
4. 日本語会話における悩み語りからの離脱の手続き 戸江哲理 日本学術振興会
——トピック移行におけるマルチモダリティ——

[第3室] 地域社会 (7号館4階743) 司会: 黒柳晴夫(椋山女学園大学)

1. 共同報告: 島根県飯石郡飯南町における量的調査研究
- (1) ソーシャル・キャピタル: 離島集落との比較を通じて 白石絢也
- (2) 集落の過疎・高齢化と人びとの生活 片岡佳美 島根大学
2. 畜産問題の社会的解明 佐野市佳 関西学院大学
——経済動物と暮らす「牛飼い」の現場から——
3. 問い直される世界遺産 中井治郎 龍谷大学
——熊野古道における台風12号災害とその復旧をめぐって——

[第4室] 文化・知識・科学Ⅰ (7号館4階744) 司会: 赤枝香奈子 (大谷大学)

1. 日本の社会学はどんな文献を参照しているのか 太郎丸 博 京都大学
——ルーマン研究、在日研究、女性労働研究の比較分析 1990-2009——
2. 再生紙は環境に良くないのか? 立石裕二 関西学院大学
——地球温暖化の論理と環境問題の変容——
3. 「コツをつかむ」とはどういうことか 小丸 超 龍谷大学
4. 蝕と苦の構造 佐藤嘉一 立命館大学
——3・11 福島原発事故と避難生活者の言葉たち——

[第5室] 宗教 (7号館4階745) 司会: 野中 亮 (大谷大学)

共同報告: 浄土真宗における寺院護持の現状と課題—浄土真宗本願寺派 第9回宗勢基本調査の分析から—

- (1) 寺院規模と護持形態の地域性 須羽新二 龍谷大学
- (2) 寺院活動と護持意識の醸成 窪田和美 龍谷大学
- (3) 門徒の宗教行動と住職の護持の論理 山本哲司 龍谷大学
- (4) 寺院護持の継承とその展望 吉田秀和 龍谷大学

[第6室] 社会病理・社会問題Ⅰ (7号館3階731) 司会: 好井裕明 (日本大学)

1. 顕われつつある差異? 清水友貴恵 京都大学
——タンザニア・アルビノ襲撃事件の分析から——
2. いじめの過程について 野村洋平 龍谷大学
——ルネ・ジラル理論による「供犠」としての「いじめ」——
3. アパシーと脱魔術化/再魔術化に関する知識社会学的考察 寺崎正啓 神戸大学

[第7室] 社会福祉Ⅰ (7号館3階732) 司会: 天田城介 (立命館大学)

1. 保育サービスにおける顧客志向の逆機能 田村直樹 関西外国語大学
——幼保一体化政策下の「保育サービスの質」を中心に——
2. 超高齢社会における市民的協同による福祉実践 魁生由美子 愛媛大学
——日韓によるパートナーシップの事例——
3. 福祉政策とアドボカシー 高橋涼子 金沢大学
——フィンランドの事例から——

[第8室] 比較社会 (7号館3階733) 司会: 藤井 勝 (神戸大学)

1. 高学歴が家父長制意識に及ぼす影響についての比較社会学 伊達平和 京都大学
——日本・韓国・台湾・中国・ベトナム・タイにおける比較——
2. 離婚に対する態度のアジア「6カ国」における比較分析 鍛冶 致 大阪成蹊大学
——EASS等のサーベイ・データを用いた計量分析——
3. 農村社会における選挙と親族関係 中屋敷千尋 京都大学
——北インド・チベット系社会を事例として——
4. 準熟練労働者の逆方向移住における移住システム 松谷実のり 京都大学
——日本人現地採用移住を事例として——

[第9室] 若手企画部会Ⅰ 〈支援〉のフィールドワーク

： 調査と実践のはざままで （7号館2階722）

司会：前田拓也（神戸学院大学）

- | | | |
|---|------|-----------------------|
| ① 誰に寄りそうのか？
——若年認知症の人への支援のフィールドワークから—— | 井口高志 | 奈良女子大学 |
| ② 対応しない問題、寄り添う苦勞
——精神障害者たちとともに生き方を考える—— | 間宮郁子 | 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 |
| ③ 〈支援〉を〈成功／失敗〉するための条件とその変容 | 仁平典宏 | 法政大学 |
| ④ 野宿者運動と野宿生活の狭間に立ち会う
——「アクションリサーチ」と「参与観察」の対比から—— | 山北輝裕 | 日本大学 |

◆総会 16：45～17：30 （6号館2階621）

◆懇親会 18：00～20：00 （倉陵会館2階）

第2日目 5月27日(日)

◆受付開始 9:00 (6号館2階)

◆研究報告Ⅱ 9:30~12:00

[第1室] 理論・学説Ⅱ (7号館4階741) 司会: 鈴木謙介(関西学院大学)

1. 臨床社会学の「介入参画」法 今津孝次郎 金城学院大学
2. 機能主義の歴史的起源 竹内真澄 桃山学院大学
——A・コントの三段階論、産業社会、企業者／作業者——
3. 社会学的知識とその「実践的使用」 木村裕之 仏教大学
——社会学のVerwendungsforschung——

[第2室] 階層・社会移動 (7号館4階742) 司会: 太郎丸 博(京都大学)

1. 職業資格のハイカルチャー的二面性 久山健太 大阪大学
——男女別にみる受験行動の規定要因——
2. 学歴別にみた世代間移動 藤原 翔 大阪大学
——日本における構成効果(compositional effect)の検討——
3. 世代間学歴閉鎖性のトレンド 白川俊之 日本学術振興会
——拡張Mareモデルによる分析——
4. 1990年以降の後期キャリアにおける無職への移行 吉岡洋介 日本学術振興会
——グローバル化と制度レジーム論を手がかりとして——

[第3室] 都市・エスニシティ (7号館4階743) 司会: 山本かほり(愛知県立大学)

1. 日光の供給——大正期の都市インフラをめぐる考察—— 西川純司 京都大学
2. エスニシティの生成と変容に関する社会学的研究 中村昇平 京都大学
——インドネシアにおけるブタウィ・エスニシティの変遷——
3. 多文化混淆地域のマイノリティ 安井大輔 京都大学
——食からみるエスニックな関係性——
4. 女子大生のパーソナル・ネットワーク 大山小夜 金城学院大学
——4年間の縦断調査データ分析——

[第4室] 産業・労働 (7号館4階744) 司会: 宇城輝人(福井県立大学)

1. 「労働による自己実現」は可能か? 百木 漠 京都大学
——アーレントとマルクスの労働思想比較から——
2. トヨタ自動車のボランティア活動 岡村徹也 中京大学
——その担い手とイシュー——
3. 産業構造の変化と職業能力の変容 太田明人 大阪大学

[第5室] 文化・知識・科学Ⅱ (7号館4階745) 司会：藤吉圭二 (高野山大学)

1. 滝川事件における大学教授の位置
——知識人界の視点から—— 大川清丈 甲子園大学
2. クラシック音楽・ベートーヴェン・近代
——文化的合理化論からみる〈音楽の自律性〉の形成—— 川本彩花 京都大学
3. 資本主義社会におけるアニメーションの制度化 雪村まゆみ 関西学院大学

[第6室] 社会意識 (7号館4階746) 司会：遠藤英樹 (奈良県立大学)

1. 宗教意識をめぐる「因果モデル」の検証
——ISSP 調査データの二次分析にもとづく国際比較の試み—— 真鍋一史 青山学院大学
2. 排外意識とパーソナルネットワーク
——JGSS-2008 のデータから—— 金 政芸 同志社大学
3. 格差社会における階層帰属意識
——総中流社会との比較—— 谷岡 謙 大阪大学
4. 「皇學館大学生の価値観」に関する意識調査結果報告
——平成23年度のアンケート調査を基にして—— 山上賢一 皇學館大学

[第7室] 社会病理・社会問題Ⅱ (7号館3階731) 司会：工藤宏司 (大阪府立大学)

1. ひきこもり経験者の語りにおける「ひきこもり」という語の意味 井出草平 日本学術振興会
2. 社会規範と自殺——自殺への寛容性と自殺率との関係性—— 平野孝典 大阪大学
3. 「ひきこもり」の当事者として〈支援〉するということ
——「専門家」言説への逡巡—— 伊藤康貴 関西学院大学
4. 少年犯罪の原因をめぐる言説の変化
——「社会の問題」から「個人の問題」へ—— 崎山右京 龍谷大学

[第8室] 社会福祉Ⅱ (7号館3階732) 司会：蘭 由岐子 (追手門学院大学)

1. 臨床テレビ論
——マス・コミュニケーションの古典学説が福祉をもたらす医療現場の調査から—— 前田益尚 近畿大学
2. <発達障害>をめぐる保育士の困難経験と対処戦略 末次有加 大阪大学
3. 不登校生の居場所における学習支援 井上 烈 京都大学
4. 「曖昧な喪失」状況下における第三者の役割
——失踪者の家族と外部との関係性の分析を通じて—— 中森弘樹 京都大学

[第9室] ジェンダー (7号館3階733) 司会：古久保さくら (大阪市立大学)

1. マイノリティ女性による法に対する挑戦
——グローバル化とジェンダー・セクシュアリティ—— 菊地夏野 名古屋市立大学
2. 男女間賃金格差の都道府県比較 織田暁子 京都大学
3. 身の上相談における職業婦人の悩みと回答の分析 濱 貴子 京都大学
4. 性暴力表現の変遷——明治期からの新聞記事を中心に—— 牧野雅子 京都大学

[第 10 室] 若手企画部会Ⅱ 国際学会発表の体験とノウハウの共有

: 武勇伝も失敗談も (7号館2階722)

司会: 倉島 哲 (関西学院大学)

- | | | |
|---------------------|------|--------|
| ① 英語が苦手な人のための国際学会発表 | 石田 淳 | 大阪経済大学 |
| ② 海外発表への歩み | 朝田佳尚 | 京都府立大学 |
| ③ 海外学会で記憶に残る報告をするには | 筒井淳也 | 立命館大学 |
| ④ 英語の使い分けのすすめ | 倉島 哲 | 関西学院大学 |
- 北京、アテネ、パリでの発表経験から——

事務局よりお願い

- ・会場および周辺では配布資料のコピーサービスはできませんので、報告者は 50 部程度ご用意ください。
- ・すべての教室でパワーポイント 2010 が用意されています。
- ・機器や接続には故障や不具合がある場合があります。万一に備え、機器なしでも滞りなく発表できるようにご準備ください。機器を利用する方は、部会の始まる 20 分前に報告教室にお集まりいただき、その教室で機器が正常に作動するかを確認してください。

◆シンポジウム 13:00～16:30

〈3.11 以前〉の社会学——阪神淡路大震災から東日本大震災へ—— (6号館2階621)

司会：蘭 信三(上智大学)・荻野昌弘(関西学院大学)

- | | | | |
|------|--|------|--------|
| 第1報告 | 震災を忘れているのは誰か? | 今井信雄 | 関西学院大学 |
| 第2報告 | “過剰な”コミュニティの意味
——阪神・淡路大震災を教訓とした東日本大震災—— | 金菱 清 | 東北学院大学 |
| 第3報告 | 東日本大震災をめぐる阪神／東京／福島
——広域システム災害という視角から—— | 山下祐介 | 首都大学東京 |
| 第4報告 | リスク社会と“ディアボリックなもの” | 三上剛史 | 神戸大学 |

2012年度関西社会学会総会

日時 5月26日(土) 16:45~17:30

会場 6号館2階621教室

総会次第

開会の辞

会長挨拶

議長発議

〈報告〉

事務局報告

研究活動委員会報告

編集委員会報告

その他報告

〈議事〉

2011年度決算について

2012年度予算について

役員選挙改正について

会則修正案

選挙規則修正案

来年度開催校について

その他

閉会の辞

以上

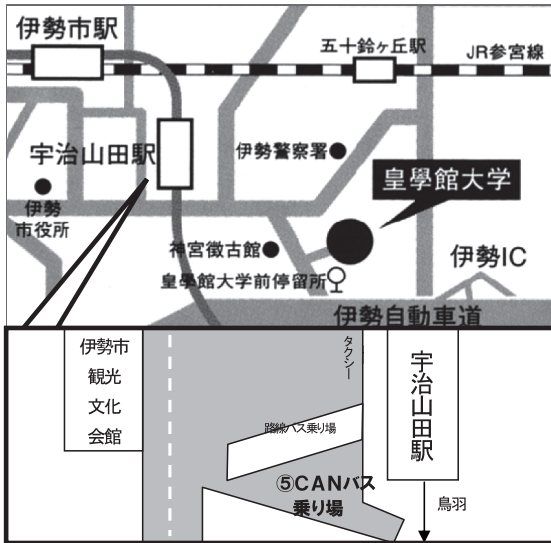
参加費用

大会参加費	2,000円
懇親会費	一般 5,000円
	学生 3,000円

本年度大会でも受付での学会費の徴収を行いません。別に学会費納入のコーナーも設けません。

皇學館大学・アクセスマップ

伊勢市駅（JR・近鉄）または宇治山田駅（近鉄）より、内宮行（徹古館前経由）または宿浦行バス及び磯部バスセンター行バスに乗車（約10分）し、皇學館大学前下車。又は宇治山田駅より徒歩約20分。



***学会期間中は、宇治山田駅（近鉄）より下記ダイヤでシャトルバスを運行します（伊勢市駅は経由しません）駅建物出て左手「⑤CANバス乗り場」より乗車。**

5/26(土)

時	宇治山田駅発
11	45
12	00 15 30 45
13	00 15 30 45
14	00

時	大学発
16	25 40 55
17	10 25 40 55
18	10
19	
20	05 15 25

5/27(日)

時	宇治山田駅発
8	10 30 40
9	00 10 40

時	大学発
12	10 25 40 55
13	10 25
14	
15	
16	25 40 55
17	10 25 40

皇學館大学ホームページ 交通アクセスのご案内からもご覧いただけます。

<http://www.kogakkan-u.ac.jp/html/about/p05.php>

大学構内案内図



屋食について 第1日、第2日とも大学構内・周辺では食事の提供がありません（第2日のみお弁当予約販売があります。学会ニュース第80号または学会HPをご覧ください）。